

## 男性・女性（1965）

MASCULIN FEMININ  
MASCULINE-FEMININE

メディア 映画  
ジャンル ドラマ 青春  
製作国 フランス／スウェーデン  
色彩 B&W  
時間 104分  
初公開日 1968/07/20  
公開情報 東和=A T G  
リバイバル 1977/11 [カトル・ド・シネマ]  
1998/09 [ザジフィルムズ]

## 【解説】

雑誌社で働くポールは、歌手のマドレーヌ（ゴヤ）と喫茶店で知り合って急速に仲良くなった。彼の友人ロベール（レオ）は、労働運動に熱心で、ポールもかなりの政治的な青年だ。が、マドレーヌはごく普通の感性の少女。流行歌手として成功はしたが、地に足の着いた暮らしを望んでいる。友人との共同部屋にポールが転がりこんで、三人でひとつのベッドに眠る奇妙な同棲生活がつづく。そのうちマドレーヌは妊娠を自覚するが、仕事が多忙でポールとはすれ違いばかり。告白しそびれるうち、彼との結婚を決めて下見にいったアパートマンで記念撮影中、彼はベランダの手すりから落ちて死んでしまう。そんな二人の恋の顛末を語るなかに、60年代後半の若者の意識を、政治に無関心な“ミス19歳”のインタビュー場面や、街頭でポールにマッチを借りた青年のベトナム反戦焼身自殺の挿話などが、シネマ・ヴェリテ風に挿入され、醒めた効果をあげる。カフェに飛び込んだ運転手と同じ質問をポールが繰り返したり、道で突然口論をふっかけてきた男がナイフで自害するなどの、エキセントリックなギャグも刺激的で、ゴヤの歌うほんわかムードのフレンチ・ポップスとは好対照をなす。モーパッサンの短編『ポールの妻』『微笑』に触発されたゴダールの、不思議な青春スケッチの快作。

## 【クレジット】

監督 ジャン＝リュック・ゴダール Jean-Luc Godard  
製作 アナトール・ドーマン Anatole Dauman  
原作 ギイ・ド・モーパッサン Guy de Maupassant  
脚本 ジャン＝リュック・ゴダール Jean-Luc Godard  
撮影 ウィリー・クラン Willy Kurant  
音楽 フランシス・レイ Francis Lai  
出演 ジャン＝ピエール・レオ Jean-Pierre Leaud  
          シャンタル・ゴヤ Chantal Goya  
          ブリジット・バルドー Brigitte Bardot  
          フランソワーズ・アルディ Françoise Hardy  
          マルレーヌ・ジョベール Marlene Jobert